



SEE MORE JESUS • WANTTOSEEMORE.COM

使徒たちの答え — ストロング番号付き欽定訳聖書研究

問いと答え — 信じ、悔い改め、バプテスマを受け、聖霊を受けよ

聖書の基礎教理 — イエス・キリストの福音

平易な言葉で

神はあなたを造られ、神はあなたを愛しておられます。すべての人は悪を行い、その悪は私たちを神から切り離します。神はその御子イエス・キリストを遣わされました。イエスは決して悪を行われませんでした。私たちの悪の代価を払うために死なれました。それから神は彼を死人の中から甦らせられ、彼は今生きておられます。あなたがしなければならないことはこうです。この良き知らせを心の底から信じなさい。あなたの悪しき道から立ち返りなさい——聖書はこれを悔い改めと呼びます。バプテスマを受けなさい——イエス・キリストの名によって水の中に下りなさい——そうすれば神はあなたの罪を赦してください。神はあなたのうちに住むために聖霊を与えてくださいます。そして生涯の終わりまで、信じる他の人々とともに、毎日イエスに従い続けなさい。彼はあなたを守り、決して終わることのない命を与えてくださいます。

開会の言葉

友よ、誰もが問うべき最も重要な問いは、教会が誕生した日に問われました。真理を聞いた人々は心を打たれ、叫んでこう言いました、私たちは何をすべきでしょうか。彼らは単に何かを感じるように、あるいは祈りを唱えてそれまでの生き方を続けるようにとは言われませんでした。彼らには入口を含む答えが与えられ、その入口には越えるべき一歩がありました。信じなさい——心を尽くして——イエス・キリストがあなたの罪のために死に、死人の中から復活されたことを。なぜなら、信仰は神の言葉を聞くことから始まるからです。悔い改めなさい——心を尽くして罪から離れなさい。イエス・キリストの名によって、罪の赦しのためにバプテスマを受けなさい——彼と共に葬られ、新しい命に生きるために起こされるのです。聖霊という賜物を受けなさい——なぜなら、キリストの霊を持たない者は、キリストに属していないからです。そして入口で止まってはなりません。使徒たちはまた、救われた者たちに、彼と共に歩み続けること、そして最後まで耐え忍ぶことを教えています——なぜなら、救いは真理において始まり、真理において続き、真理において終わるからです。祈りは良い始まりであり、あなたは今この時にそれを祈ることができます。しかし使徒たちが答えたすべてのことを聞き、それを行いなさい。そうすればあなたは救われます。これが入る道です。あなた自身のためにそれを学び、それを歩みなさい。

本研究が答える三つの問い:

1. 人々が心を刺され、「私たちは何をすべきか」と叫んだとき、使徒たちはどう答えたか。
2. 心で信じ、口で告白するとはどういう意味ですか。また、イエス・キリストの名によるバプテスマは何をもたらしますか。
3. キリストは私たちの罪を洗い流すために何を受けられたのか、また聖霊の賜物は誰に約束されているのか。

I. 質問 — 兄弟たちよ、我々は何をすべきか

使徒行伝 2:36 だから、イスラエルの全家は、この事をしかと知っておくがよい。あなたがたが十字架につけたこのイエスを、神は、主またキリストとしてお立てになったのである。(37) 人々はこれを聞いて、強く心を刺され、ペテロやほかの使徒たちに、「兄弟たちよ、わたしたちは、どうしたらよいのでしょうか」と言った。

彼らは心を刺され⇒兄弟たちよ、私たちはどうしたらよいのか

II. 根拠 — キリストは死なれ、その血は罪より洗い清める

A. ローマ人への手紙 5:8 しかし、まだ罪人であった時、わたしたちのためにキリストが死んで下さったことによって、神はわたしたちに対する愛を示されたのである。

私たちがまだ罪人であったとき、キリストは私たちのために死んでくださった。

B. ヨハネの黙示録 1:5 また、忠実な証人、死人の中から最初に生れた者、地上の諸王の支配者であるイエス・キリストから、恵みと平安とが、あなたがたにあるように。わたしたちを愛し、その血によってわたしたちを罪から解放し、

原語キー / **STRONG'** S: ■ G3068 louo

忠実な証人、また死者の中から最初に生まれた方 --> わたしたちを愛してくださった方 --> ご自身の血によってわたしたちを罪から洗い清めてくださった方。

C. エペソ人への手紙 1:7 わたしたちは、御子にあって、神の豊かな恵みのゆえに、その血によるあがない、すなわち、罪過のゆるしを受けたのである。

私たちは彼の血によって贖い、すなわち罪の赦しを得ている。

(私個人の思い——贖いと罪の赦しは彼にある。それゆえ、私たちは彼の中へバプテスマされるのである。私たちを洗う血と、その血が買い取る赦しは、私たちがその中へバプテスマされる、まさにその方の中に見出されるのである。)

D. イザヤ書 52:14 多くの人が彼に驚いたように——彼の顔だちは、そこなわれて人と異なり、その姿は人の子と異なっていたからである——

彼の顔だちは、どの人よりも損なわれ、その姿は人の子よりも損なわれていた。

E. イザヤ書 50:6 わたしを打つ者に、わたしの背をまかせ、わたしのひげを抜く者に、わたしのほおをまかせ、恥とつばきとを避けるために、顔をかくさなかった。

私はわが背を打つ者にまかせ、わがほおをひげを抜く者にまかせ、恥と唾とを避けて顔をかくさなかった。

F. 詩篇 22:14 わたしは水のように注ぎ出され、わたしの骨はことごとくはずれ、わたしの心臓は、ろうのように、胸のうちに溶けた。(15) わたしの力は陶器の破片のようにかわき、わたしの舌はあごにつく。あなたはわたしを死のちに伏させられる。(16) まことに、犬はわたしをめぐり、悪を行う者の群れがわたしを囲んで、わたしの手と足を刺し貫いた。(17) わたしは自分の骨をことごとく数えることができる。彼らは目をとめて、わたしを見る。(18) 彼らは互にわたしの衣服を分け、わたしの着物をくじ引にする。

私の骨はことごとくはずれ⇒彼らはわが手とわが足を刺し通し⇒彼らはわが衣を分け、わが衣服のためにくじを引く。

G. イザヤ書 53:4 まことに彼はわれわれの病を負い、われわれの悲しみをになった。しかるに、われわれは思った、彼は打たれ、神にたたかれ、苦しめられたのだ。(5) しかし彼はわれわれのとながのために傷つけられ、われわれの不義のために砕かれたのだ。彼はみずから懲しめを受けて、われわれに平安を与え、その打たれた傷によって、われわれはいやされたのだ。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H7495 rapha

彼はわれわれのとがのために傷つけられ、われわれの不義のために打たれた。彼の受けた傷によって、われわれはいやされたのである。

H. マタイによる福音書 27:28 そしてその上着をぬがせて、赤い外套を着せ、(29) また、いばらで冠を編んでその頭にかぶらせ、右の手には葦の棒を持たせ、それからその前にひざまずき、嘲弄して、「ユダヤ人の王、ばんざい」と言った。(30) また、イエスにつばきをかけ、葦の棒を取りあげてその頭をたたいた。

茨の冠を彼の頭に --> 彼らは彼につばきをかけ、頭を打った。

I. ルカによる福音書 22:44 イエスは苦しみもだえて、ますます切に祈られた。そして、その汗が血のしたたりのように地に落ちた。

そして、その汗が血のしたたりのように地に落ちた。

J. ヨハネによる福音書 19:34 しかし、ひとりの兵卒がやりでそのわきを突きさすと、すぐ血と水とが流れ出た。

槍が彼のわき腹を刺した => すると、ただちに血と水が出て来た。

(私の個人的な思い——ゆっくり読んでほしい。そしてこれはあなたのために書かれたのだと知ってほしい。星々を造られたその御顔は、見分けもつかぬほど傷つけられた。すべてのものを支える背は、鞭によって切り開かれた。らい病人を癒されたその手は、鉄によって打ち貫かれた。その骨は数えられるほどに浮き出た。汗は、一本の釘が打たれるより前に、血のように滴り落ちた。彼は力によって押さえつけられたのではない——ご自身の背を進んで差し出され、御顔を隠されなかった。すべての傷はあなたの罪が彼に負わされたものであり、すべての傷跡はあなたの不義であり、すべての一滴はあなたの負債であった。そしてすべてが成し遂げられたとき、血と水が彼の脇腹から流れ出た——血はあなたを洗うために、水はあなたを彼のうちに葬るために。それゆえ、あなたが悔い改めてバプテスマを受けるように言われるとき、あなたは何か難しいことを求められているのではない。あなたはひざまずいて、それだけの代価を払われたものを受け取るように求められているのである。)

III. 主イエス・キリストを信じ — 口をもって彼を告白せよ

A. 創世記 15:6 アブラムは主を信じた。主はこれを彼の義と認められた。

原語キー / STRONG' S: ■ H539 aman

アブラムは主を信じた --> 主はこれを彼の義と認められた。

B. ローマ人への手紙 4:3 なぜなら、聖書はなんとやっているか、「アブラハムは神を信じた。それによって、彼は義と認められた」とある。

アブラハムは神を信じた --> それは彼の義と認められた。

C. 民数記 21:8 そこで主はモーセに言われた、「火のへびを造って、それをさおの上に掛けなさい。すべてのかまれた者が仰いで、それを見るならば生きるであろう」。(9) モーセは青銅で一つのへびを造り、それをさおの上に掛けて置いた。すべてへびにかまれた者はその青銅のへびを仰いで見て生きた。

かまれた者はみな、それを仰ぎ見るならば --> 生きる。

D. ヨハネによる福音書 3:14 そして、ちょうどモーセが荒野でへびを上げたように、人の子もまた上げられなければならない。(15) それは彼を信じる者が、すべて永遠の命を得るためである」。(16) 神はそのひとり子を賜わたしたほどに、この世を愛して下さった。それは御子を信じる者がひとりも滅びないで、永遠の命を得るためである。

原語キー / STRONG' S: ■ G4100 pisteuo

モーセが荒野にて蛇を挙げしごとく --> 人の子もまた上げられるべし --> 彼を信ずる者は誰も滅びずして、永遠の生命を得べし。

(私自身の思い——この二つを並べて、教えられることを見てみよう。荒野で、死にかけていた人々は、治療を得るために何かをせよとは言われなかった。彼らはただ、神が竿の上に掲げられたものを信仰をもって見よと言われ——そして生きた。イエスは、その竿はご自身の十字架の型であったと言われる。信じるとは、見ることである。人が何かを悔い改める前に、何かに従う前に、まず全身全霊をもって、掲げられた方を見つめ、信頼しなければならない。そしてアブラハムを見よ。彼は信じ、神はそれを彼の義と認められた——律法の前に、いかなる儀式の前に。信仰こそ、すべての始まりである。しかし、次の節で信仰がいかに速やかに従順へと移っていくかに注目せよ——同じ夜、同じ時に。)

E. ローマ人への手紙 10:8 では、なんとやっているか。「言葉はあなたの近くにある。あなたの口にあり、心にある」。この言葉とは、わたしたちが宣べ伝えている信仰の言葉である。(9) すなわち、自分の口で、イエスは主であると告白し、自分の心で、神が死人の中からイエスをよみがえらせたと信じるなら、あなたは救われる。(10) なぜなら、人は心に信じて義とされ、口で告白して救われるからである。

原語キー / **STRONG' S:** ■ G3670 homologeō

口にてイエスを主と言ひあらわし + 心にて神の彼を死人の中より甦らせ給ひしことを信ぜば --> 汝は救われん。

F. ローマ人への手紙 10:13 なぜなら、「主の御名を呼び求める者は、すべて救われる」とあるからである。

主の御名を呼び求める者は皆 --> 救われる。

G. ローマ人への手紙 10:17 したがって、信仰は聞くことによるのであり、聞くことはキリストの言葉から来るのである。

したがって、信仰は聞くことによるのであり --> 聞くことはキリストの言葉から来るのである。

H. 使徒行伝 16:29 すると、獄吏は、あかりを手に入れた上、獄に駆け込んできて、おののきながらパウロとシラスの前にひれ伏した。(30) それから、ふたりを外に連れ出して言った、「先生がた、わたしは救われるために、何をすべきでしょうか」。(31) ふたりが言った、「主イエスを信じなさい。そうしたら、あなたもあなたの家族も救われます」。(32) それから、彼とその家族一同とに、神の言を語って聞かせた。(33) 彼は真夜中にもかかわらず、ふたりを引き取って、その打ち傷を洗ってやった。そして、その場で自分も家族も、ひとり残らずバプテスマを受け、

原語キー / **STRONG' S:** ■ G4100 pisteuo

皆さん、私は救われるために何をすべきでしょうか --> 主イエス・キリストを信じなさい --> そして彼とその家族すべては、ただちにバプテスマを受けた。

(私自身の考え——聖書全体を通して、この全く同じ問いが声に出して問われているのはただ二度だけである。ここピリピの牢獄と、使徒行伝二章の五旬節においてである。この二つの答えを並べて見るがよい。五旬節の群衆はすでに聞いており、すでに信じていた——それゆえに彼らは心を刺されたのであり——それでペテロは次の段階、すなわち悔い改めよ、バプテスマを受けよ、というところから始めた。獄吏はまだ何も知らなかったゆえ、パウロは最初の段階、すなわち信ぜよ、というところから始め——それから主の言葉を彼に語った。そしてその夜のその時刻に、その人はバプテスマを受けた。二つの始まり、一つの道である。信じることはバプテスマの敵対者ではなく、バプテスマも信じることの敵対者ではない。信仰とは従う心のことであり、その時刻こそ十分に早いのである。)

I. ヘブル人への手紙 11:6 信仰がなくては、神に喜ばれることはできない。なぜなら、神に来る者は、神のいますことと、ご自身を求める者に報いて下さることとを、必ず信じるはずだからである。

信仰がなければ、神に喜ばれることはできない --> 神に来る者は、神が実在すること、を信じなければならない。

IV. 答え — 悔い改めて、バプテスマを受け、聖霊を受けよ

使徒行伝 2:38 すると、ペテロが答えた、「悔い改めなさい。そして、あなたがたひとりびとりが罪のゆるしを得るために、イエス・キリストの名によって、バプテスマを受けなさい。そうすれば、あなたがたは聖霊の賜物を受けるであろう。(39) この約束は、われらの主なる神の召しにあずかるすべての者、すなわちあなたがたと、あなたがたの子らと、遠くの者一同とに、与えられているものである」。

原語キー / **STRONG' S:** ■ G3340 metaneoō ・ ■ G907 baptizō ・ ■ G859 aphesis

悔い改めてイエス・キリストの名によりバプテスマを受け、罪の赦しを得よ----> そうすれば聖霊の賜物を受けん。

V. 悔い改めよ

A. 使徒行伝 3:19 だから、自分の罪をぬぐい去っていただくために、悔い改めて本心に立ちかえりなさい。

悔い改めよ、そして立ち返れ --> あなたがたの罪が消されるために。

B. ルカによる福音書 13:3 あなたがたに言うが、そうではない。あなたがたも悔い改めなければ、みな同じように滅びるであろう。

汝ら悔い改めずば、みな同じく滅ぶべし。

C. コリント人への第二の手紙 7:10 神のみこころに添うた悲しみは、悔いのない救を得させる悔改めに導き、この世の悲しみは死をきたらせる。

神のみこころに添うた悲しみは --> この世の悲しみは死をきたらせる。

(私の個人的な思い——これを一度言われて終わる小さな言葉だと思ってはならない。悔い改めよ、またそれに類する言葉は、聖書全体を通して百十二回響いている——旧約聖書に四十六回、新約聖書に六十六回。「立ち返れ、立ち返れ」と叫ぶ預言者たちから、「悔い改めよ」と叫ぶヨハネへ、主ご自身へ、使徒たちへ、諸教会に書き送られた復活のキリストへと——創世記から

黙示録まで、一つの呼びかけが響いている。立ち返れ。神はこれを人々に呼びかけることを一度も止められたことがない。そして、誰もこれを行うことを止めてはならない。)

VI. 罪の赦しのためにキリストにバプテスマを受けなさい

A. 使徒行伝 22:16 そこで今、なんのためらうことがあろうか。すぐ立って、み名をとнаえてバプテスマを受け、あなたの罪を洗い落しなさい。』

原語キー / **STRONG'** S: ■ G907 baptizo

起きて、バプテスマを受け、汝の罪を洗い去れ —— 主の御名を呼びて。

B. ローマ人への手紙 6:4 すなわち、わたしたちは、その死にあずかるバプテスマによって、彼と共に葬られたのである。それは、キリストが父の栄光によって、死人の中からよみがえらされたように、わたしたちもまた、新しいいのちに生きるためである。

バプテスマによってキリストと共に死に葬られた -- それは、キリストが死人の中からよみがえらされたように、私たちもいのちにあって新しく歩むためである。

C. コロサイ人への手紙 2:12 あなたがたはバプテスマを受けて彼と共に葬られ、同時に、彼を死人の中からよみがえらせた神の力を信じる信仰によって、彼と共によみがえらされたのである。

バプテスマにおいてキリストと共に葬られ--->神の力の働きに対する信仰によってキリストと共に復活した。

D. ペテロの第一の手紙 3:21 この水はバプテスマを象徴するものであって、今やあなたがたをも救うのである。それは、イエス・キリストの復活によるものであって、からだの汚れを除くことではなく、明らかな良心を神に願い求めることである。

バプテスマは今やあなたがたをも救うのである = 明らかな良心を神に願い求めることである。

(私自身の思い——救うのは水ではない。それは、良心が神に対して答えることである。すなわち、バプテスマの服従を通して良心に適用される血であり、新しいいのちへとよみがえらされる人のことである。)

列王紀下 5:10 するとエリシャは彼に使者をつかわして言った、「あなたはヨルダンへ行って七たび身を洗いなさい。そうすれば、あなたの肉はもとにかえって清くなるでしょう」。

原語キー / **STRONG'** S: ■ H2891 taher

行ってヨルダンで七たび身を洗え --> そうすればあなたの肉は元にかえって、あなたは清くなるであろう。

列王紀下 5:13 その時、しもべたちは彼に近よって言った、「わが父よ、預言者があなたに、何か大きな事をせよと命じて、あなたはそれをなさらなかったでしょうか。まして彼はあなたに『身を洗って清くなれ』と言うだけではありませんか」。

もし預言者があなたに何か大いなる事をせよと命じたならば、あなたはそれをしなかったであろうか。 --> ましてその彼が「洗って清くなれ」と言う時には、なおさらではないか。

列王紀下 5:14 そこでナアマンは下って行って、神の人の言葉のように七たびヨルダンに身を浸すと、その肉がもとにかえって幼な子の肉のようになり、清くなった。

そこでナアマンは下って行って --> その肉がもとにかえって幼な子の肉のようになり、清くなった。

(私個人の思い——ここには、はるか昔に描かれた同じ真理がある。ナアマンは偉大な人物であったが、らい病人であった。そして彼はある小さなことをするように言われた。ヨルダン川へ行って七度身を洗え、そうすれば清くなる、と。彼は怒り、何か壮大な行為を期待し、自分の国の川の方がイスラエルの水よりも優れていると思った——今でも人々がこのような単純な命令につまずくのと同じように。しかし彼を癒したのは、決してヨルダン川の水そのものではなかった。神が定められたその水の中で、神の言葉に従うことであった。彼は下って行き、七度身を浸すと、その肌は幼な子の肌のようによみがえった。人が新しく生まれるとは、そういうことである——自分自身の何か大いなる努力によってではなく、従順によって下り、そして新しい子として、清められて上ってくることによってである。)

E. マルコによる福音書 16:16 信じてバプテスマを受ける者は救われる。しかし、不信仰の者は罪に定められる。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G907 baptizo

信じてバプテスマを受ける者は救われる。

F. ヨハネによる福音書 3:5 イエスは答えられた、「よくよくあなたに言うておく。だれでも、水と霊とから生れなければ、神の国にはいることはできない。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G1080 gennao

人は水と霊とによって生まれなければ、神の国に入ることはできない。

G. ガラテヤ人への手紙 3:27 キリストに合うバプテスマを受けたあなたがたは、皆キリストを着たのである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G907 baptizo

キリストに合うバプテスマを受けたあなたがたは --> 皆キリストを着たのである。

H. テトスへの手紙 3:4 ところが、わたしたちの救主なる神の慈悲と博愛とが現れたとき、(5) わたしたちの行った義のわざによってではなく、ただ神のあわれみによって、再生の洗いを受け、聖霊により新たにされて、わたしたちは救われたのである。

我らの救主なる神の仁慈と愛とが顕れたり --> 義の行為によるにあらず --> その憐憫によりて我らを救い、更生の洗いを以てなり。

I. エペソ人への手紙 2:8 あなたがたの救われたのは、実に、恵みにより、信仰によるのである。それは、あなたがた自身から出たものではなく、神の賜物である。(9) 決して行いによるのではない。それは、だれも誇ることがないためなのである。(10) わたしたちは神の作品であって、良い行いをするように、キリスト・イエスにあって造られたのである。神は、わたしたちが、良い行いをして日を過ごすようにと、あらかじめ備えて下さったのである。

原語キー / **STRONG'** S: ■ G5485 charis

恩恵により、信仰を通して汝らは救われたり、これ神の賜物なり --> 行為によるにあらず、誰も誇ることもなからんためなり --> 我らは彼の造りたる者にして、キリスト・イエスにありて善き行為のために造られたるなり。

(私自身の考え — この二つの真理を共に保つなら、そこに矛盾はない。恵みは賜物であり、信仰はそれを受け取る。そしてバプテスマは、ナアマンが川に身を浸すことによって癒やしを勝ち取ったのではなく、また死にゆく者たちが青銅の蛇を仰ぎ見ることによって命を勝ち取ったのでもないように、何かを勝ち取る行いではない。神がすべてを備えられ、人はただ従い、受け取るのみである。水から上がって来る者には誇るべきものは何もない——彼は葬られ、神が彼をよみがえらせたのである。上でペテロの前の書、三章二十一節について述べられたことは、ここでも真実である。すなわち、それは水ではなく、また私たち自身の手の行いでもない。それは恵みであり、信仰の従順を通して受け取られるものである。そしてまさに次の節は、行いが何のためにあるかを語っている——救いの根拠としてではなく、その実として。私たちは神の作品であり、キリスト・イエスにあって新しく造られ、神があらかじめ備えてくださった善い行いの中を歩むためである。命令に従う者は誰も賜物を勝ち取ったのではなく、それを勝ち取ることだと呼ぶ者は誰も、その命令を理解していないのである。)

J. テモテへの第一の手紙 1:13 わたしは以前には、神をそしめる者、迫害する者、不遜な者であった。しかしわたしは、これらの事を、信仰がなかったとき、無知なためにしたのだから、あわれみをこうむったのである。

冒流者+迫害者+暴力を加える者 → しかし私はあわれみを受けた。

(私個人の思い — この従順によって誰の罪が洗い流されたのかに注目しなさい。タルソのサウロはキリストの道を死に至るまで迫害した。男女を捕らえ、牢獄に引き入れた、神を冒流する者、神の民を迫害する者であった。主ご自身が道で彼に会い、彼を地に打ち倒し、天から彼に語られた。それでも、三日後、アナニヤが遣わされてこう言った。すなわち、立ち上がりバプテスマを受け、主の名を呼び求めて、あなたの罪を洗い流しなさい、と。ダマスコへの道での光がサウロの罪を洗い流したのでではなく、従順の水がそれを洗い流したのであれば、誰も、最悪の罪人に神が与えられたよりも簡単な方法で自分の罪が取り除かれるなどと思ってはならない。)

VII. 聖霊の賜物を受ける

A. 使徒行伝 19:5 人々はこれを聞いて、主イエスの名によるバプテスマを受けた。(6) そして、パウロが彼らの上に手をおくと、聖霊が彼らにくんだり、それから彼らは異言を語ったり、預言をしたりし出した。

主イエスの名によってバプテスマを受けた --> 聖霊が彼らの上に下った。

B. ローマ人への手紙 8:9 しかし、神の御霊があなたがたの内に宿っているなら、あなたがたは肉におるのではなく、霊におるのである。もし、キリストの霊を持たない人がいるなら、その人はキリストのものではない。

キリストの霊を持たない者があれば、その人はキリストのものではない。

C. 使徒行伝 2:39 この約束は、われらの主なる神の召しにあずかるすべての者、すなわちあなたがたと、あなたがたの子らと、遠くの者一同とに、与えられているものである」。

約束はあなたがたとに与えられ、あなたがたの子らに与えられ、遠くに在るすべての者に与えられている。

D. エペソ人への手紙 1:13 あなたがたもまた、キリストにあって、真理の言葉、すなわち、あなたがたの救の福音を聞き、また、彼を信じた結果、約束された聖霊の証印をおされたのである。(14) この聖霊

は、わたしたちが神の国をつぐことの保証であって、やがて神につける者が全くあがなわれ、神の栄光をほめたたえるに至るためである。

あなたがたはその約束の聖霊によって証印を押された。——それはわたしたちの受くべき嗣業の保証である。

E. コリント人への第二の手紙 1:22 神はまた、わたしたちに証印をおし、その保証として、わたしたちの心に御霊を賜ったのである。

神はまた、わたしたちに証印をおし+その保証として、わたしたちの心に御霊を賜ったのである。

閉会

エペソ人への手紙 4:30 神の聖霊を悲しませてはいけな。あなたがたは、あがないの日のために、聖霊の証印を受けたのである。

神の聖霊を悲しませてはいけな。あなたがたは --> あがないの日のために、聖霊の証印を受けたのである。

(私自身の思い——聖霊は選ばれた少数の者への褒賞ではない。聖霊は、御自身に属する者たちに対する王の印であり、また、贖いの日まであなたが御自身のものであることの手付金——前もって支払われる相続の最初の部分——である。それゆえ、問いは明白に立てられ、そして問われなければならない。あなたは聖霊を受けているか。御言葉はこう明確に告げているからである。キリストの霊を持たない者は、キリストに属していない。印のない手紙は王の手紙ではない。御霊のない人は、まだキリストのものではない。御霊を得るまで、御霊を求め続けなさい。)

練習クイズ

1. 人々はこれを聞いて心を刺され、言った——

- a) なぜためらうのか
- b) 人々よ、兄弟たちよ、私たちは何をすべきでしょうか。
- c) 君よ、われ救われんために何を為すべきか

2. 悔い改めて、おののおイエス・キリストの名によりバプテスマを受けなさい。それは——

- a) 罪の赦し
- b) 正しい良心の応答
- c) 買い取られた所有物の贖い

3. 彼は震えながら来て言った、君たちよ、我いかにせば救われるべきか。彼らは言った、主イエスを信ぜよ。そして夜のその時刻に彼は—

- a) 贖いの日のために証印を押された
- b) ヨルダンに七次身を浸したれば
- c) 彼と彼の家族の者たちは、すぐにバプテスマを受けた

4. ナアマンはヨルダンに七度身を浸すと、その肉は元に戻り——

- a) 慰の時來らんため
- b) 小さな子供の肉のようになり、彼は清くなった
- c) 新生の洗いにより

5. さらば汝ら悔改めて改心せよ——

- a) 汝らの罪の消されんために
- b) 汝らもみな同じく滅ぶべし
- c) 世の憂は死を生ず

6. もし人にキリストの御霊がないなら —

- a) 彼は贖いの日のために証印を押されている
- b) 神の國に入ることを得ず
- c) 彼はキリストのものではない

7. 私たちを愛し、私たちを罪から洗い清めてくださった方に —

- a) ヨルダンの水にて
- b) 彼自身の血によって

c) 神の言葉によって

解答: 1-b • 2-a • 3-c • 4-b • 5-a • 6-c • 7-b

このスタディの分岐

脇道 — ガラテヤ人への手紙3章27節(「キリストにつくバプテスマ」)は、アブラハムの子孫へと開かれていく。「もしあなたがたがキリストのものであるなら、アブラハムの子孫であって、約束による世継ぎなのである」(ガラテヤ人への手紙3章29節)。

脇道 — エペソ人への手紙1章14節(「御霊の保証」)は、購われたものの贖い — 嗣業そのものと、手付けが全額支払われる日 — へと開かれていく。

ギリシャ語キーワード

“信じる” — **G4100 pisteuo** — 信じること、信頼すること、委ねること

主イエス・キリストを信じなさい、そうすればあなたは救われる——いかなる行動を取る前にも、心の内にある信仰。

“告白する” — **G3670 homologeo** — 同じことを言うこと、公に認めること

口によって告白することは救いに至る。

“悔い改める” — **G3340 metanoeo** — 思いを転じること;悔い改めること

それを始める転換 — 悲しみだけではなく、神に向かって新たにされた思いである。

“バプテスマを受ける” — **G907 baptizo** — 水で洗うこと。水に浸されて再び上げられること。

服従の最初の行為である、彼と共に葬られ、新しい命に歩むために復活させられること。

“洗われた” — **G3068 louo** — 沐浴する。全身を洗う

私たちをその血によって罪から洗い清めてくださった。

“赦免” — **G859 aphesis** — 放免すること、解き放つこと、赦すこと

イエス・キリストの名によって、罪の赦しのためにバプテスマを受ける——過去の罪が送り去られる。

“生まれる” — **G1080 gennao** — 生む、生まれる

人は水と霊によって生まれなければ、神の国に入ることはできない。

“恵み” — **G5485 charis** — 恵み。無償の賜物

あなたがたは恵みにより、信仰によって救われた — それは神の賜物である。

ヘブライ語キーワード

“信じた” — **H539 aman** — 信頼すること、堅くあること、忠実であること — 「アーメン」という言葉の語根
アブラハムは主を信じた。それによって、それが彼の義と認められた。

“きよい” — **H2891 taher** — 清くある。きよくある

洗って、清くなりなさい——ナアマンの肉は幼子の肉のように元に戻った。

“いやされた” — **H7495 rapha** — いやす。全くする

その打たれた傷によって、私たちはいやされる。

SOURCES & CREDITS

Scripture: Kougo (Colloquial) (Public Domain (1955 口語訳聖書 — Japan Bible Society's own copyright page confirms the copyright protection period has ended; see registry/JAPANESE_LEGAL_PATH.md. Moral/integrity rights are preserved under Japanese law, so the text is rendered verbatim only, never altered -- pipeline.VERBATIM_LANGS.)) — a redistributable edition, looked up exactly and never machine-translated.

Alternate chapter/verse numbering reconciled with STEP Bible TVTMS (CC BY 4.0).

Strong's numbering & original-language data: OpenScriptures Hebrew Bible (CC BY 4.0); STEP Bible.org — TAHOT/TAGNT/TBESH/TBESG (CC BY 4.0); Robinson-Pierpont Byzantine Majority Text (Public Domain); Strong's dictionary, 1890 (Public Domain).

Typography: Google Noto fonts (SIL Open Font License 1.1).

© SEE MORE JESUS • wanttoseemore.com — shared under Creative Commons Attribution 4.0 (CC BY 4.0).